

# 緑の架け橋

会報第 17 号

2011 年 1 月 25 日

第 14 回植林緑化派遣団〔2010年9月24日~28日〕

## 石嘴山・銀川 3ヶ年プロジェクト最後の補植作業終える

～第 14 回植林緑化派遣団（2010 年秋）報告～



石嘴山プロジェクト地にて（2010/09/24）

IFCC 緑の架け橋プロジェクトの活動は、2002 年の「緑の架け橋推進センター」の活動開始以来、8 年目を経ることになりました。寧夏回族自治区で進められてきたプロジェクトは 2010 年度に「日中青年銀川生態緑化林事業」「日中青年石嘴山生態緑化林事業」の 2 件が終了しました。これで 5 件のプロジェクトが終了したことになり、1350ha に植林してきたこととなります。

本プロジェクトは「日中緑化交流金」の助成事業で、IFCC の中国側カウンターパートを全国中華青年連合会として、進められてきました。

2010 年度の新規事業として、「日中青年石嘴山市惠農区生態緑化モデル林事業」「寧夏吳忠市太陽山開発区日中青年生態緑化モデル林事業」がスタートすることになりました。

大河の一滴を面に、そして「緑」を友好の懸け橋に。皆様のご協力をお願い致します。

### IFCC 国際友好文化センター

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 333 辻ビル 405 TEL. 03-3268-4387 FAX. 03-3268-6079

口座：中央労働金庫市ヶ谷支店（普）0858119 郵便：00130-9-425994

口座名：緑の架け橋推進センター

本会報は事業主催（IFCC）の植林プロジェクト特集となります

緑の架け橋プロジェクト

中国植林緑化活動協力事業

プロジェクト名	事業実施期間	植林面積	遂行状況
寧夏紅寺堡生態緑化プロジェクト	2002年度～2004年度	330ha	完了
寧夏・日中青年平羅県生態緑化林事業	2004年度～2006年度	290ha	完了
日中青年寧夏中衛生態緑化モデル林プロジェクト	2005年度～2007年度	300ha	完了
日中青年銀川生態緑化林事業	2007年度～2009年度	180ha	完了
日中青年石嘴山生態緑化林事業	2007年度～2009年度	182ha	完了
寧夏中寧県日中青年生態緑化モデル林事業	2008年度～2011年度	300ha	2年目 200ha 終了
日中青年石嘴山市恵農区生態緑化モデル林事業	2010年度～2012年度	220ha	1年目 60ha 開始
寧夏呉忠市太陽山開発区日中青年生態緑化モデル林事業	2010年度～2012年度	210ha	1年目 70ha 開始

### 【2009年度活動報告】

緑の架け橋プロジェクトの世話人会を、2011年1月12日に開き、2009年活動経過と2010年度活動計画について以下確認しました。

2008年度(2008年11月)以降、「IFCC緑の架け橋プロジェクト」として世話人会をつくり、植林緑化活動の継続を進めてきました。2009年度(2009年11月～2010年10月)は、「寧夏中寧県日中青年生態緑化モデル林事業」の二期目(100ヘクタール、123,000本)、「日中青年銀川生態緑化林事業」の三期目(75ヘクタール、143,980本)、「日中青年石嘴山緑化林事業」の三期目(66ヘクタール、90,300本)をそれぞれ実施してきました。

派遣団は第13回(2010年4月9日～13日、8人参加)、第14回(2010年9月24日～28日、6人参加)の2回を実施。

会報は2010年1月に15号、同年7月に16号を発行。

2008年度から「IFCC緑の架け橋プロジェクト」へと移行し、協賛金を呼び掛けてきましたが、これまでの会費制と異なり、大幅に賛同者が減少してしまいました。あらためて趣旨を呼び掛け、協賛を募っていききたいと思います。

### 【2009年度収支報告】(実績09年11月30日～10年11月29日)

収 入				支 出			
費目	予算(円)	実績(円)	摘要	費目	予算(円)	実績(円)	摘要
預かり金		0		事務所間借代	240,000	0	240,000未払い
協賛会費		141,000		通信・送料		39,060	100,000未払い
植林協力金		120,000	13回14回派遣団	事務局費		510,775	
寄付金		301,335	IFCCより	事業費		740,810	派遣費補填
賛助金		740,810	参加者より	印刷代		362,010	会報2回含む
助成金①		844,160	派遣経費、基金より	備品・消耗品		17,137	
助成金②		345,343	事務経費、基金より	アボカド自己資金		844,160	一部未払い
会場費		72,000	学習会参加費	返済金		301,335	IFCCへ
借入金		201,769	IFCCより	未払金		0	
雑収入		48,870	団費余剰分	郵便振替手数料		0	
合 計		2,815,287		雑費		0	
						2,815,287	

### 【2009年度貸借表】単位・円

貸 方				借 方		借方の説明	
通帳	0	郵便振替	0	返済金	551,335	立ち上げ資金 250,000	
現金	0	助成金	0			09借入金 201,769	
計	0			アボカド自己資金	1,325,239	09石嘴山 428,505	09銀川 394,145
				未払い金	340,000	09中寧県 502,589	
						事務所代 240,000	
				計	2,576,574	通信費 100,000	

### 【今後のIFCC緑の架け橋プロジェクトによる活動計画】

#### I. 会報「緑の架け橋」の年2回の発行

#### II. 協賛呼びかけ

協賛会員を呼びかけ、登録をしていく。協賛金の目安は個人一口×3000円、団体一口×30,000円ですすめる。

#### III. 植林協力金の要請

植林活動参加者1人の植林協力金を10,000円として要請する。

#### IV. 植林緑化派遣団の実施

第15回 2011年4月15日(金)～19日(火)

寧夏中寧県日中青年生態緑化モデル林事業 3年目  
日中青年石嘴山市恵農区生態緑化モデル林事業 1年目  
寧夏吳忠市太陽山開発区日中青年生態緑化モデル林事業 1年目

第16回 2011年9月下旬予定

石嘴山恵農区、吳忠市太陽山、中寧県における捕植活動

【2010年度 プロジェクトの事業計画】(2010年11月～2011年10月)

区分	寧夏中寧県日中青年石嘴山生態緑化モデル林事業		寧夏吳忠市太陽山開発区日中青年生態緑化モデル林事業		日中青年石嘴山市恵農区生態緑化モデル林事業		摘要
	事業経費(千円)	内容	事業経費(千円)	内容	事業経費(千円)	内容	
植林	14,006	1230000本(100ha)	11,870	79000本(70ha)	5,584	350,000本(60ha)	苗木購入、植え付けなど
保育	2,126	灌水・農業散布・施肥等	1,323	除草・施肥・農業散布等	3,301	除草・施肥・農業散布等	灌水・施肥・農業散布・獣害防除
機材調達	675	農業散布器、ホシ、肥料等	270	消火器、肥料等	2,233	消火器、肥料等	造林用作業具、農業散布機等
基盤整備	1,350	灌漑設備等	1,418	灌漑設備等	887	灌漑設備等	灌漑水路整備
事務経費	850	通信・印刷等	850	通信・印刷等	650	通信・印刷等	
技術者派遣	700	派遣旅費等	700	派遣旅費等	700	派遣旅費等	
その他	991	測量計画費等	772	技術指導等	675	測量計画設計費	助成経費以外の経費
合計	20,698(内、助成14,000)		17,203(内、助成9,600)		16,190(内、助成9,600)		

第14回植林緑化派遣団(2010年09月24日～28日)活動報告

報告：自治宮崎県本部 松田満徳

この度、緑の架け橋推進プロジェクト「第14回植林緑化派遣団」として5日間、中国内陸地の砂漠地帯での植林活動に参加する機会をいただきました。今回の作業は、本年4月に行われた「第13回植林緑化派遣団」により植えられた植林地の補植作業ということで、2日間で3ヶ所の植林作業を行いました。

事前学習会および打ち合わせにおいて、これまでの経過とプロジェクトの概要・植林活動の現状について次のとおり説明がありました。

日中緑化交流基金による助成事業の経過

- ①1998年の長江流域で大洪水の発生・中国政府は樹木の伐採禁止指置
- ②1999年7月に当時の小渕総理訪中の際10年間で100億円の植林のための基金設立構想を表明し、日中両政府で取り決めを行った。(日中民間緑化協力委員会の設置)
- ③2000年に事業が開始され、2008年には、74プロジェクト、延べ植林面積は163,366ha

中国森林の現状

- ①森林面積は1億5900万ha、日本国土面積の4.3倍、森林率16.5%

世界の森林の約4%を占め、砂漠化面積地域は2億6200ha

- ②中国では、天然林資源保護、防護林建設、野生動植物保護など6つの林業政策により2050年までに森林率26%以上、50年間で1億haの植林を目標

2010年9月24日(金)羽田空港⇒北京⇒銀川

北京空港では、日本語スルーガイドの劉さんが出迎えていただき、以降全日程に同行、大変心強く、安心してスケジュールをこなすことができました。北京から銀川へは夜遅くの移動となり、現地には23時頃に到着。翌日からの作業に備えました。



石嘴山プロジェクト地で(10・9・25)

9月25日(土)石嘴山・恵農区視察・中寧県

1日目の植林作業は、日中青年石嘴山生態緑化林事業の実施地区でおこなわれました。早朝に銀川市のホテルを出発し、ほぼ半日かけての移動となりました。車窓からの眺めは、最初は物珍しさもあり、広大な国土に関心仕切っていましたが、高速道路をいくら進んでも、見渡す限りの山肌しか見えない、緑の植物が生えていない現状と、その広さに圧倒されてしまいました。説明によると、年間の降水量



中寧県プロジェクト地 (10・9・25)

午後はさらに車を走らせ、また車窓からの変わらぬ荒野を見ながら、寧夏中寧県日中青年生態緑化モデル林事業の実施地区での作業となりました。ここでも、小学生の出迎えをうけ、和やかな中での植え付け作業が行われました。

### 9月26日(日) 銀川補植

2日目は、日中青年銀川生態緑化林事業の実施地区に異動しての作業でした。ここは、灌漑用のダムとなるとのことで、そのダムの周辺を緑化する目的で植林がおこなわれています。ダムの水は、はるか黄河からポンプアップするそうで、日本では考えられないことです。この地区では、果物などの栽培もおこなわれ、緑化事業の成果が現れてきているようでありました。

今回、植林作業を通して、現地の関係者の皆さんの植林に対する思いは、緑の豊かな日本に住んでいる私には想像できない思いがあるのだろうと考える時、自然を守っていくことがいかに大切なのかを改めて考えさせられる機会になりました。

最後に、このような貴重な体験の機会を与えていただいた関係者の皆様、また現地でお世話になった皆様、一緒に派遣団として参加された皆様に感謝を申し上げます。

ありがとうございました。

### 第14回植林緑化派遣団参加者 (6名)

No.	氏名	所属・役職	No.	氏名	所属・役職
1	佐藤 晴男	IFCC 緑の架け橋プロジェクト 会長 ( 団 長 )	4	阿部 浩樹	自治労/山形
2	大西 浩	自治労/香川	5	小出 朋子	自治労/福島
3	松田 満徳	自治労/宮崎	6	内海 野花	IFCC 国際友好文化センター



銀川プロジェクト地の記念碑の前で (10・9・26)



新規プロジェクト地の原風景  
左…石嘴山市惠農区  
右…吳忠市太陽山開発区



200mm 程度しかないとのことで、植物も育たない状況だそうです。

現地では、植林を手伝ってくれる小学生 (6年生) の子供たちといっしょに作業をおこない、その楽しそうな姿に、子供たちに国境はないんだと改めて感じました。土壌は砂地で、水やりの作業が大変とのことでしたが、春に植えられた苗木はほぼ元気に育っており、管理の苦勞が見えました。

つづいて、新規事業予定の恵農区の現場に案内され、パネルなどを使って、今後の作業の予定等が説明されました。予定地のすぐそばには黄河の流れがありましたが、文字通り濁った河で、源流には砂漠が広がっていることが容易に想像できました。